1. 道路交通体系の整備

岱明玉名線

事業費・・・682,002千円



岱明玉名線(一部完成)

担当課・・・土木課

新市域の骨格を形成する幹線道路は、東西方向に走る国道 208 号及び国道 501 号を位置づけ、岱明 玉名線を南北方向の幹線道路として整備しています。

これにより、主要な交通結節点を結ぶアクセス道路として、物流及び交通の活性化に寄与するよう努めます。

現在、国道 501 号から県道長洲玉名線までの 2,600mが完成し供用開始をしているところであり、残りの国道 208 号線までの 1,100mを平成 27 年度完成 予定で事業を進めているところです。

小浜繁根木線

事業費・・・17,600千円

本市の中心市街地と豊水・大浜地区及び松木・六田 地区を結ぶ重要な幹線道路となるこの区間は、幅員が 狭くセンターラインもないために、離合も困難であり、J R踏切周辺が交通渋滞を起こしている状況です。

そこで、地域住民の利便性を向上し、広域的には新幹線新玉名駅へのアクセス道路としての役割を果たすため、道路を拡幅し歩道を設け、交通渋滞緩和と歩行者の安全を確保します。

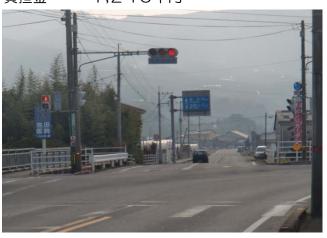
事業年度 H23~H27 年度 総事業費 500.000 千円 担当課・・・土木課



小浜繁根木線

県営道路事業負担金

負担金・・・7,245千円



担当課・・・土木課

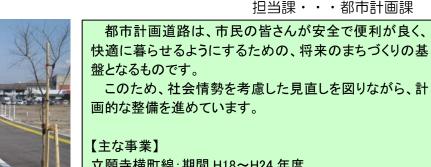
この事業は、毎年本市からの要望を基に県が計画的に行う事業です。

県道に関する道路の拡幅、側溝の改良、舗装を新しくするなど、利便性の向上と安全の確保を目的に改善を行う事業であり、その事業に対する費用の一部を本市が負担しています。

県道熊本玉名線

都市計画道路の整備

事業費・・・39, 296千円



都市計画道路立願寺横町線 (市民会館~国道 208 号 一部完成)

立願寺横町線:期間 H18~H24 年度

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴い、温泉街から 新庁舎予定地等の公共文化施設集積ゾーン、市街地、国 道 208 号へアクセスする道路を整備します。

都市計画マスタープラン策定事業 事業費・・・6,641千円

平成 24 年 3 月末の玉名都市計画区域(旧玉名市)と長 洲都市計画区域(旧岱明町)、大浜町大栄地区の都市計 画区域の再編に伴い、新たな都市計画マスタープランの 策定に取り組みます。(平成 23~25 年度の 3ヵ年)

平成 24 年度は、学識経験者、各種団体及び市民代表 の方々から構成される「玉名市都市計画マスタープラン策 定委員会」を立ち上げ、まちづくりの理念や目標、土地利 用、都市整備方針を定める「全体構想」を策定します。

併せて、地域住民の皆さんのご意見を反映するため、 住民ワークショップ(3回)も開催する予定です。

【策定スケジュール】

H23 基礎調查分析、住民意向調查

H24 全体構想の検討・策定

H25 地区別構想の検討·策定 都市計画マスタープランの決定 担当課・・・都市計画課



住民ワークショップ(イメージ)

県営農免道路整備事業負担金 負担金・・・6、000千円



北牟田尾田農免道路

熊本県が行う農業農村整備事業の事業費の 10%を本市が

担当課・・・農林水産政策課

この事業により農道を整備し、広域流通施設の機能を発揮さ せ(流通コストの削減及び高品質農産物の生産による生産性 の向上)、地域農業を活性化させる事業です。

負担します。

生活道路網の整備

担当課・・・土木課

事業費・・・454,569千円

生活道路網の整備では、市道の拡幅工事を行ったり、舗装を新しくするなど、市民生活に最も密着した生活道路を計画的に整備し、市民の利便性の向上と安全の確保に努めています。

道路維持では、市道の安全を守り快適に利用できるよう市内のパトロールを行い、破損箇所等の補修・除草、 市道に付随する街路樹・街路灯・地下道などの維持管理を行っています。

また、地元住民で、里道・水路を整備、補修される際必要となる機械借上げ、原材料の支給を要綱に基づき行っています。







着工前

竣工

橋りょう整備事業

事業費・・・13,000千円

担当課・・・土木課

橋りょう整備事業とは、老朽化した橋りょうの長寿命化や耐久性の向上のため、構造物の劣化の予防や補修 等を行う事業です。

これにより、橋りょうの安全性を確保し、通行車両や歩行者・自転車等が安心して通行できるように努めます。







松本橋

2. 公共交通の充実

福祉送迎バス事業

事業費・・・6,006千円

旧玉名市で運行されていた福祉センターへの送迎に加え、合併後29人乗りのバスを購入し、平成19年4月から旧玉名市、旧3町の高齢者の交流を図るため、福祉センターから岱明、横島、天水の温泉施設への運行を開始しました。

福祉バスは、これまで自家用車や公共機関の利用が困難な高齢者を、温泉施設に通うことができるようにすることにより、地域間の交流、生きがい作り、健康増進につなげることなどを目的としています。

現在は、各地区と福祉センター、福祉センターと草枕てんすいなどを往復する14コースを運行しています。

担当課・・・高齢介護課



各温泉施設を結ぶ福祉バス

地域の公共交通の確保

事業費・・・81,682千円

担当課・・・地域振興課

【路線バス】

市民の移動手段として必要不可欠な公共交通として、バス事業者に補助金を交付することで、路線バスを運行し、地域の生活交通の確保や福祉の向上を図ります。

九州新幹線全線開業に合わせ、新玉名駅への乗り入れ、玉名 温泉街のバス停新設、北稜高校や玉名高校方面への路線変更な どを実施しました。

・地方バス路線維持費等補助金 71,598 千円 【みかんタクシー】

玉名市天水町及び熊本市河内町において、路線バスの廃止に 伴い、他に代替可能な公共交通機関がない地域の生活交通を確 保するため、事前予約制の乗合タクシーを運行しています。

・天水・河内みかんタクシー運行補助金 2,029 千円 【地域公共交通会議】

市民の移動ニーズの把握をはじめ、公共交通の利用実態や運行ニーズの調査・分析によって本市が抱える公共交通の課題を整理した上で、路線バスの再編を中心とした地域公共交通確保維持改善計画を策定します。

•地域公共交通会議負担金 8.055 千円



日常生活に不可欠な路線バス

3. 魅力ある住環境の整備

公営住宅改修工事等

事業費・・・164,096千円

現在、市営住宅は31団地1,208戸を管理しています。 この中には大倉・一本松団地等昭和30年から50年代に 建てられた住宅が全体の約8割を占めており、劣化や故 障等に伴う修繕が必要となっています。

平成24年度は、経過年数と共に老朽化し、剥離、ひび割れ、爆裂等による劣化した団地外壁の改修及び屋上等の防水工事を行います。

また、利用者の昇降時の安全性を確保するために団地共用階段部に手摺りを設置します。

担当課・・・住宅課





外壁が劣化した団地





手摺りのない団地供用階段部

定住化促進事業

事業費・・・28,098千円

【定住促進補助金】

本市への移住者の増加を図るため、市外から市内に 住宅を新築又は購入し移住される方に対して 5 年間で 100万円の補助を行います。

さらに、住宅を購入された際にリフォームが必要な場合や移住後に新幹線を利用して通勤される場合は、補助を加算します。

また、これら補助金の宣伝広告を福岡方面に向けて行います。

・定住促進補助金 26,600 千円 ·広告料 880 千円 【定住相談ブースの出展】

定住の促進は、「本市の魅力を高め、住みたいと思わせる」ことが基本であり、その上で全国に向けて本市の魅力を発信しながら定住へと結び付ける必要があります。

そこで、東京や大阪の大都市圏において開催される定 住関係のフェアに相談ブースを出展し、定住希望者へ直 接情報を提供します。

•定住相談事業 318 千円

【結婚サポートセンター登録料補助金】

結婚による定住者増加を図るため、結婚サポートセンター登録料を補助し、結婚への第一歩を後押しします。

・結婚サポートセンター登録料補助金 300 千円

担当課・・・地域振興課



電車内吊広告・駅構内掲示用ポスター

高齢者と子どものふれあい事業 事業費・・・2,759千円

担当課・・・高齢介護課

高齢者と子どもたちの交流の場となっている 一本松団地ふれあい交流館

現在、高齢化に伴う高齢者の生きがいづくりや、隣人関 係の希薄化による高齢者の自宅引きこもりが危惧され、そ の対策が課題となっています。

一方で、少子化により兄弟の少ない子どもたちが増加し ており、テレビやゲームなど一人遊びが主流で、ほとんど の子どもたちは昔遊びを知りません。

このような現状から、地域の高齢者が子どもたちに本の 読み聞かせをしたり、高齢者と子どもたち合同での料理や お菓子作り教室、クリスマス会、楽しい昔話を伝える交流 会などを開催することは大いに意義があります。

一本松団地ふれあい交流館では、子どもと高齢者との 世代交流活動を地域ぐるみで推進し、高齢者の生きがい づくりを支援するとともに、子どもの健全育成を図ることを 目的として、高齢者と子供のふれあい事業を実施していま

交流館には、業務を受託する市社会福祉協議会の指導 員 2 人が交代で日曜日、水曜日、祝日を除く日の午前 10 時から午後5時まで常駐しています。

ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業 事業費・・・4,000 千円



着工前





担当課・・・住宅課

高齢者や障害者の方をはじめ誰もが円 滑に利用できる建築物の整備を促進する 事業です。

民間の事業者の方が、ユニバーサルデ ザイン計画書(※)に基づき、国のバリアフ リー法や熊本県のやさしいまちづくり条例 に定められた、市内の不特定多数の人が 利用する建物を改修する場合に、補助対 象となる経費の 2/3 を交付します。

なお、限度額は 400 万円で、建物の用 途によっては補助の対象とならないものも あります。

竣工

※ユニバーサルデザイン計画書とは

誰もが利用しやすい建物となるように、すべての人に簡単・快適・安全などの基本的な視点について、施設 整備の考え方や具体的な整備内容を記載した計画書です。

4. 公園・緑地等の整備

公園管理事業

事業費・・・79,511千円

担当課・・・都市計画課

土木課

新玉名駅前広場

本市には、蛇ヶ谷公園や桃田運動公園、岱明中央 公園、6 月になると花しょうぶが咲く裏川水際緑地、山 の上展望公園、実山公園、それぞれの地区に配置さ れている街区公園などがあります。

市民の皆さんが、公園を憩いの場として、また、レク リエーションやコミュニティ活動の場として安全・安心に



山の上展望公園ビッグジャングルジム

花しょうぶが咲く裏川水際緑地

担当課・・・都市計画課

公園整備事業

事業費・・・32,574千円

老朽化した都市公園の施設や園路を再整備し、公園利用 者の安全を確保すると共に利用促進を図るため、都市公園 のバリアフリー化及び長寿命化計画に照らした施設の改修

を行います。



- ・ ひらしま児童公園(園路改修舗装)
- おおみなと児童公園(園路改修舗装)
- 滑石河川緑地(排水施設改修)



平成 23 年度に改修した岱明中央公園 (テニスコート)

花の都づくり推進費

事業費・・・6,667千円

担当課・・・都市計画課

季節の花々を種から育てています。育てた花は、新玉名駅前・玉名駅前・菊池川河川敷駐車場・蛇ヶ谷公園・桃田運動公園・裏川水際緑地・市役所庁舎内の花壇へ植えつけています。

また、まちづくり委員会や小中学校などの、花のまちづくり活動をしている団体に、種・土・肥料などの材料支給をして活動のお手伝いをしています。育てられた花は校区ごとの花壇に植えられています。冬から春にかけてはパンジーやハボタン、初夏から秋にかけてはマリーゴールドやサルビアの花がきれいです。これからも、更なる「花の都玉名」づくりを進めていきます。



菊池川河川敷駐車場の花だん

八嘉校区の花づくり活動

玉陵中学校の花づくり活動

花つくり会補助金

事業費・・・600 千円

「花つくり生き生きハウス」を利用し四季折々の花を栽培することにより、市民の健康づくりや環境美化に対する関心を高め、心豊かな住みよい生活環境づくりと高齢者の引きこもりを防ぐための介護予防の一環として花いっぱい運動を推進しています。

担当課・・・横島市民福祉課





市内各地がきれいな花で飾られます。

花苗栽培事業

事業費・・・2,500千円

花工房でんすいでは、「花の館」近くの育苗ハウスで苗を育て、道路沿いや、公共施設、ポケットパークなどへ季節の花を植栽することを活動の中心に置いて、花いっぱい運動を展開しています。

また、小中学校の新入生や独り暮ら しのお年寄りなどに鉢植えをプレゼント したり、各種イベント会場を花で飾るな ど様々な活動をしています。

担当課・・・天水総務振興課



育苗ハウス内での作業風景

下水道投入施設の周辺整備事業費・・・82,474千円

担当課・・・環境整備課



下水道投入施設「水の守」の完成に伴い、旧し尿処理施設の解体を行い、緑地公園や側溝などの周辺整備を行います。

【主な経費】

旧し尿処理施設解体工事 34,323 千円 跡地整備工事 30,545 千円 側溝改良工事 13,000 千円

公園整備予定地

5. 情報・通信基盤の整備

情報・通信ネットワークの整備、情報サービスの充実

事業費・・・124,234千円

担当課・・・情報管理課 秘書課



様々な市民サービスを提供 するシステムサーバ群

住民票、印鑑登録、市民税や固定資産税などの各種情報、福祉情報等様々な情報を電算処理により管理しています。その電算システム及び機器の保守を行い、システムの安定稼動及び市民サービスの向上を目指します。

また、国道208号から市民会館までの立願寺横町線(都市計画道路)の整備に伴い、平成23年度に実施した国土交通省事業である電線共同溝(※)へ入線した光ファイバーケーブルと新庁舎を繋ぐための通信管路の埋設を行います。

地中化することにより市役所を起点に市内の各施設や小中学校を相互に接続している光ファイバーケーブルが台風などの災害の影響を受けにくくなるため、断線などの被害が少なくなり、より安定した行政サービスの提供が可能となります。

その他、本市の行政情報や地域情報を広く内外に発信するため、ホームページの保守事業等を行います。

※電線共同溝とは

道路上の電力線や通信線を地中化するために、地中に敷設される管路のこと。

地上デジタル放送電波障害対策事業

事業費・・・9,101千円

担当課・・・生活安全課

平成23年7月にアナログ放送から、地上デジタル放送への移行後も地上デジタル放送の受信が地理的に困難な地域「地上デジタル放送難視聴地域」に対して、難視聴の解消の目的で、共同受信施設及び個別受信施設の設置に対して支援を行います。

支援期間は 27 年 3 月までとなっております。

